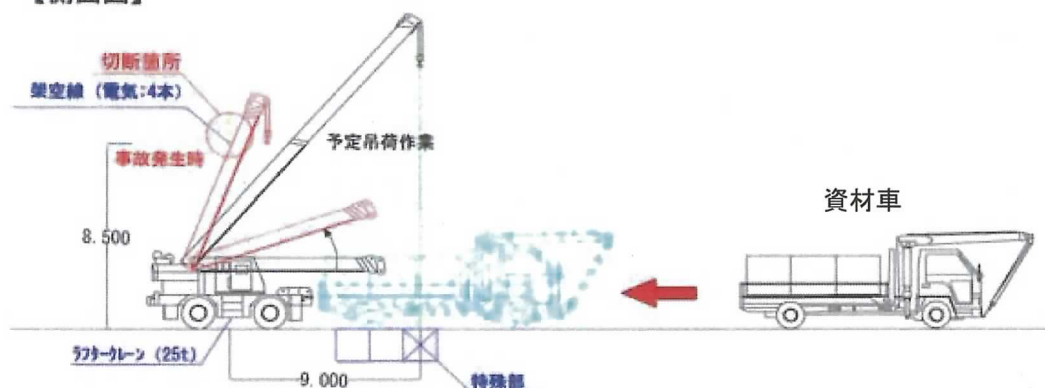


発生日時	平成 22 年 5 月 14 日 (金) 15 時 50 分				天候	曇
工事情報	道路系事務所 As舗装工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	架空線切断		
事故概要	電線共同溝工事にてラフタークレーン(25t)を設置し、ブームを上げウインチを巻き上げた際に、架空線に接触し切断したもの。					

事故発生状況

【側面図】



・電線共同溝の特殊部設置作業を行っていた。

・バックしてきた資材車にあたると思い、必要以上にブームを起こしてしまったため、架空線に接触し、巻き上げ作業と同時に切断した。

【事故発生原因】

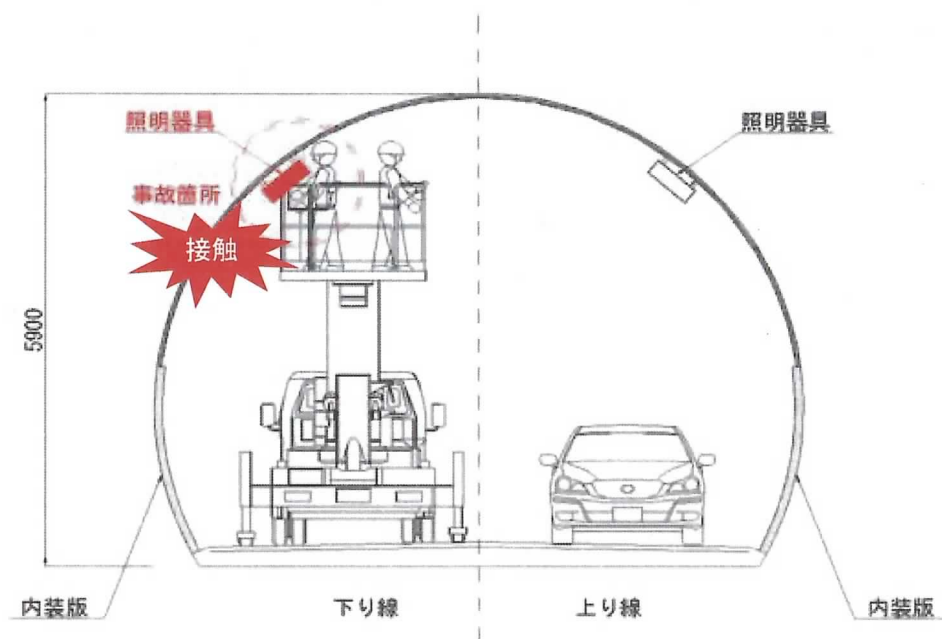
・誘導合図なしでオペレータが独断でクレーンのブームを動かしてしまったこと。

【事故防止のポイント】

・合図者・オペレータ間の合図や誘導方法の事前確認。
・架空線近接箇所における作業方法の周知徹底。 など

発生日時	平成 22 年 5 月 17 日 (月)				10 時 20 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	-	-	-	トンネル照明灯損傷			
事故概要	トンネル点検車にてトンネル内の事前調査を行っていたところ、トンネル照明灯に接触し損傷させたもの。						

事故発生状況



損傷状況

【事故発生原因】

・作業床を操縦していた作業員が、照明器具を避けたと思い込んでいたため。

【事故防止のポイント】

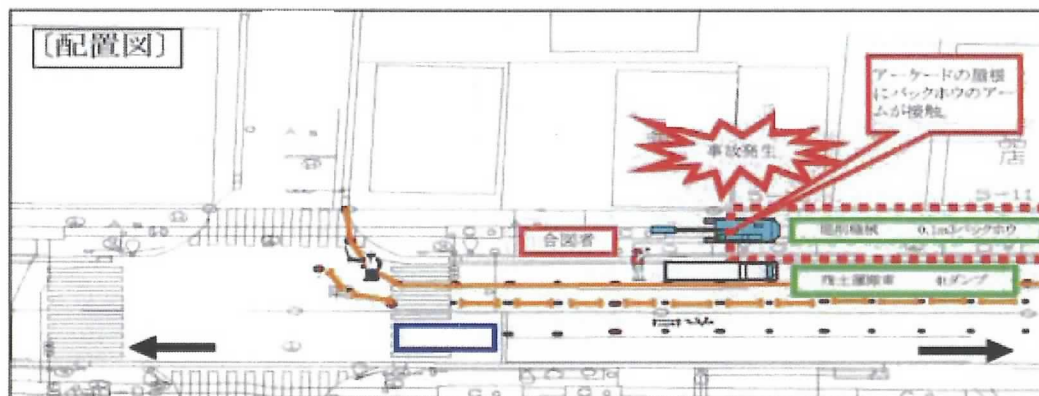
・作業時の周辺状況の確認・徹底。
・専任の誘導者の配置。

など

別紙

発生日時	平成 22 年 6 月 6 日 (日)				0 時 18 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 As舗装工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	-	-	-	アーケード損傷			
事故概要	歩道の打換工のため、0. 1m3バックホウにて路床掘削作業を行っていたところ、バックホウの アームにて、アーケード屋根端部に接触し損傷させたもの。						

事故発生状況



アーケード損傷状況

【事故発生原因】

- ・作業範囲における上空支障物に対する目印表示が設置されておらず、注意喚起不足であったため。

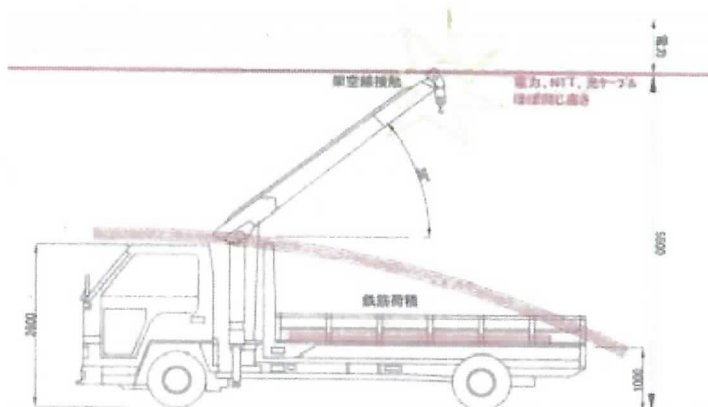
【事故防止のポイント】

- ・上空支障物に注意が向くよう目印表示の設置。
- ・上空支障物の近接箇所における作業方法の周知徹底。 など

別紙 2

発生日時	平成 22 年 6 月 10 日 (木) 4 時 0 分				天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	架空線(東電、NTT、光ケーブル)切断		
事故概要	4トンユニック車に鉄筋を積んで運搬していたところ、ブームを下ろさなかったため架空線(東電線、NTT線、光ケーブル)を切断したもの。					

事故発生状況



切断状況

【事故発生原因】

- ・ブームを格納し忘れて走行したため。

【事故防止のポイント】

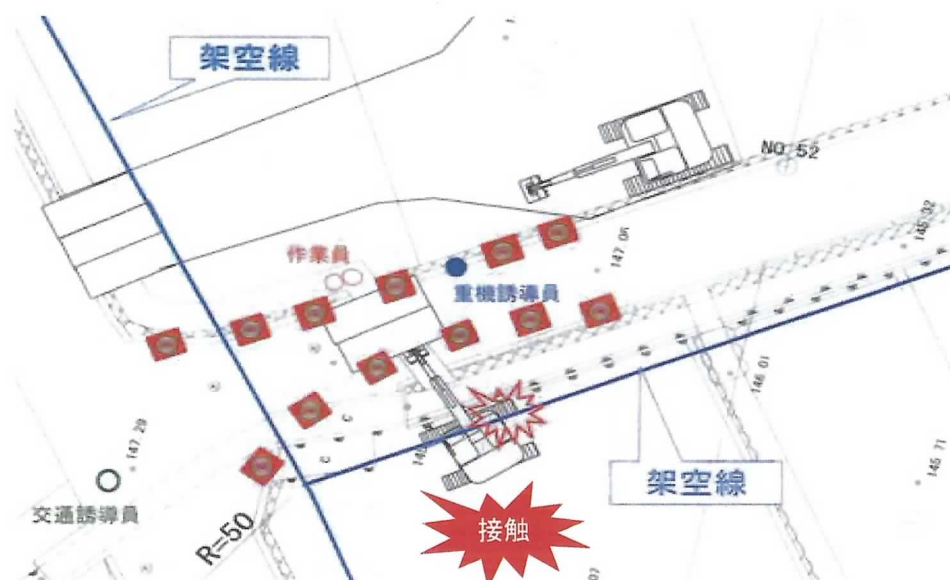
- ・走行時は必ずブームを格納することについて作業員に周知・徹底する。
- ・架空線近接箇所における作業方法の周知徹底。

など

別紙

発生日時	平成 22 年 7 月 23 日 (金) 15 時 0 分				天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	架空線(NTT線)切断		
事故概要	切廻し水路の基礎作業中にバックホウのバケットが架空線(NTT線)に接触し、切断したもの。					

事故発生状況



現場状況



損傷状況

【事故発生原因】

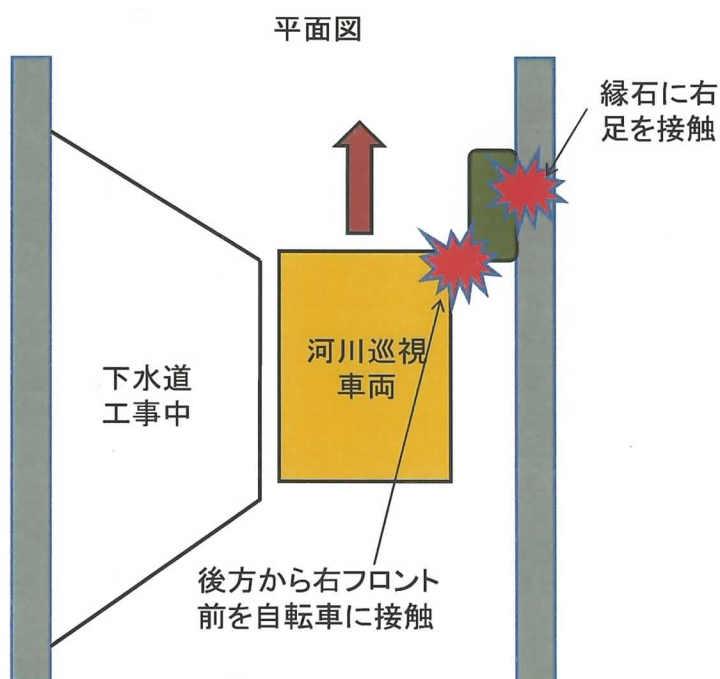
・オペレータに対して、架空線付近での作業方法の指導・徹底が不十分であったこと。

【事故防止のポイント】

・架空線近接箇所における作業方法の周知徹底。
・合図等誘導方法の確認など

発生日時	平成 22 年 4 月 20 日 (火) 15 時 55 分				天候	曇
工事情報	河川系事務所 業務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	13	第三者	打撲		
事故概要	河川巡視から事務所に戻る途中、車道を走っていた自転車と接触し負傷させたもの。					

事故発生状況



損傷状況

【事故発生原因】

・運転手の周辺確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。

別紙 8

発生日時	平成 22 年 5 月 24 日 (月) 8 時 50 分					天候	雨
工事情報	道路系事務所 役務						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	-	-	-	災害対策車、第三者車両損傷			
事故概要	車両管理員が災害対策車を運転していた際に、ブレーキ操作を誤ったため、前方から来た車両に接触し、損傷させたもの。						

事故発生状況



災害対策車 損傷状況



第三者車両 損傷状況

【事故発生原因】

- ・運転手の周辺確認不足によるもの。

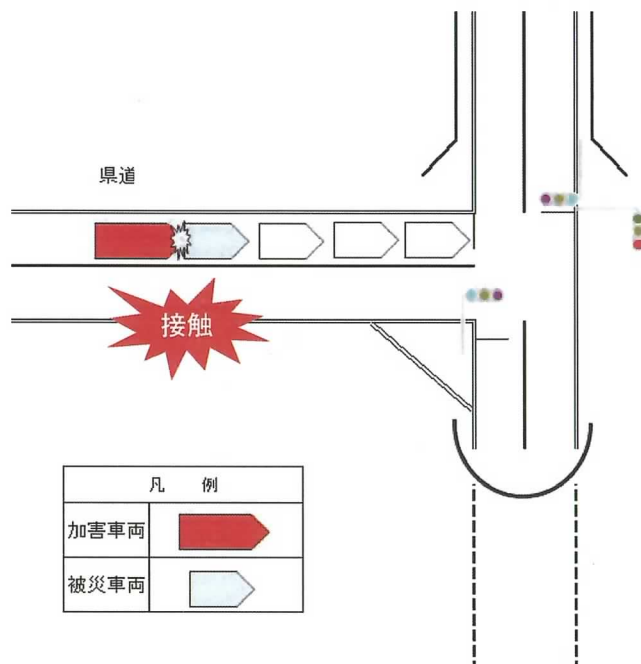
【事故防止のポイント】

- ・車両安全運転教育の徹底。

別紙

発生日時	平成 22 年 7 月 2 日 (金)				9 時 30 分	天候	雨
工事情報	河川系事務所 業務						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	-	-	-	第三者車両損傷			
事故概要	走行中に信号待ちをしていた停車中の第三者車両に追突し、損傷させたもの。						

事故発生状況



・足場にかバンを置いていたため、足を動かせる空間が狭くなってしまっていた。

【事故発生原因】

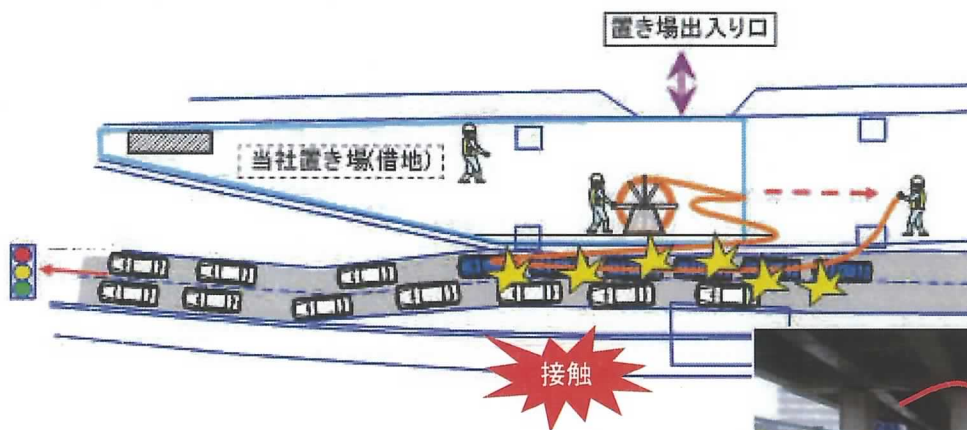
・足元に置いたカバンが支障となり、誤操作となったもの。

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。

発生日時	平成 22 年 7 月 6 日 (火) 20 時 00 分				天候	晴
工事情報	道路系事務所 As舗装工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	一般車両(6台)損傷		
事故概要	管路導通の点検の準備を行っていた際に、ケーブルが車道に飛び出し、一般車両に接触し損傷させたもの。					

事故発生状況



・リールに巻かれていた管路導通点検のケーブルを点検整備のため引き出していたところ、勢いがついてフェンスの外に飛び出し、信号待ちをしていた車両(6台)に接触し損傷させた。



ケーブルを巻いていたリール



車両損傷状況

【事故発生原因】

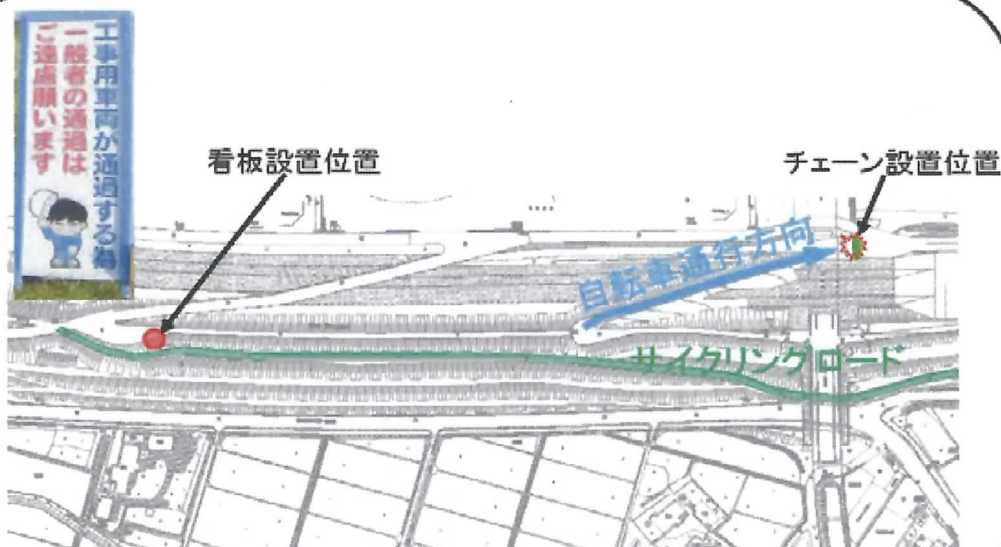
- ・作業に関する注意が不足していたため。
- ・事前に器具の取扱い方法について確認していなかったため。 など

【事故防止のポイント】

- ・作業手順について作業員に周知・徹底する。 など

発生日時	平成 22 年 7 月 18 日 (日) AM3件				天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男・女		第三者	うちみ、擦り傷(2名)		
事故概要	休工中の現場にかけてあったチェーンに自転車が衝突し、第三者、自転車が負傷したもの。(3件)					

事故発生状況



- ・工事箇所入り口には上記の看板を設置していたが、立ち入り禁止にはしていなかった。
- ・チェーンの前にカラーコーンを置いていたが、天気がよくてチェーンが見えにくかった。



チェーン設置箇所



対策後

【事故発生原因】

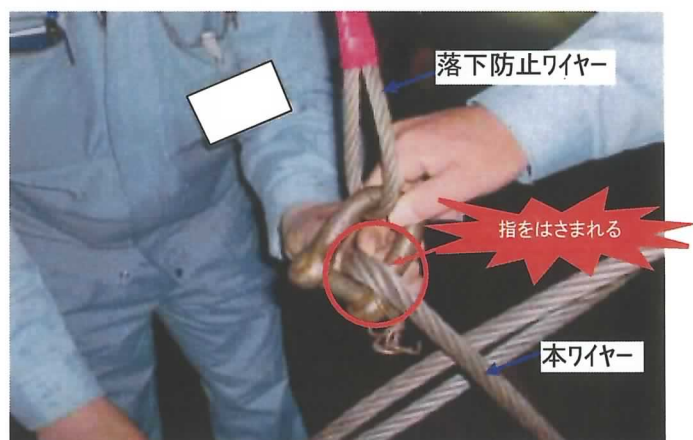
- ・第三者への安全配慮が不足していたため。 など

【事故防止のポイント】

- ・チェーンに反射テープ・明示テープを貼る。 など

発生日時	平成 22 年 4 月 20 日 (火) 14 時 00 分				天候	雨
工事情報	河川系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	60	作業員	左手中指裂傷		
事故概要	玉掛ワイヤーとシャックルを外す作業中、オペレータがクレーンを動かし作業員が負傷したもの。					

事故発生状況



・作業員がシャックルから本ワイヤーをはずそうとしていた。
 ・クレーンのフックが作業員の頭に当たりそうだったため、オペレータが作業員の状況を確認せずにワイヤーを引き上げたところ、作業員の指が挟まり負傷した

【事故発生原因】

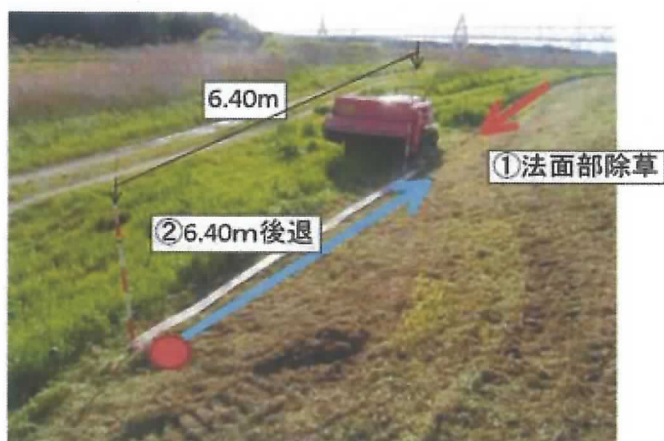
・オペレータの確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・作業前に周囲の安全確認を行う。
 ・重機の運転は誘導員の合図に従う。 など

発生日時	平成 22 年 5 月 13 日 (木)	9 時 41 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	34	作業員	左足すね部開放骨折
事故概要	ハンドガイドに搭乗して除草作業を行っていたところ、足を滑らせ転落し、キャタピラ部に左足が轢かれ負傷したもの。			

事故発生状況



- ①平場から法面部を除草していた。
- ②平場の続きを除草しようと後退したところ、搭乗者が足を滑らせた。
- ③滑り落ちる際に、操作レバーにしがみつき、片足を地面についたときに左足が巻き込まれた。安全装置が外れず、そのまま機械はバック走行。
- ④足が巻き込まれて倒れこんだときに安全装置が働き、機械が停止。



【事故発生原因】

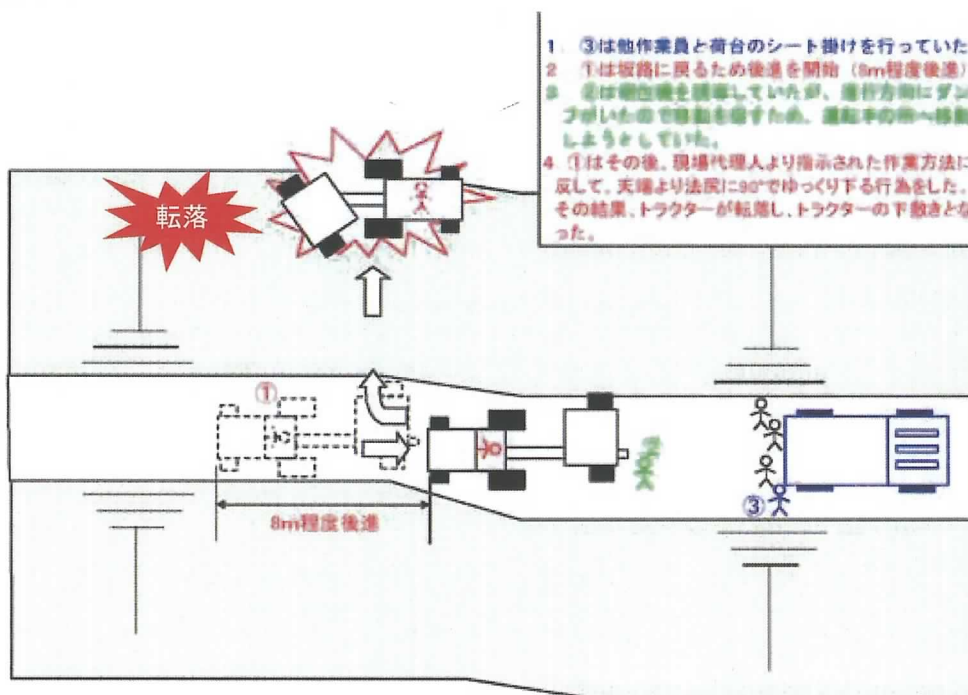
- ・スピードを出して後退していたため、機械の揺れが大きく、転落する原因となったため。

【事故防止のポイント】

- ・作業員に対して建設機械の使用法の指導・徹底。
 - ・作業前に安全装置の作動点検の実施。
- など

発生日時	平成 22 年 7 月 4 日 (日) 11 時 20 分				天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	67	作業員	骨髄損傷、肋骨骨折		
事故概要	堤防天端にて集草した刈草を梱包作業中、トラクター（梱包機）が転落し、作業員が下敷きとなり負傷したもの。					

事故発生状況



・堤防天端を法尻に
 向け90°で下ろうと
 したため、トラクター
 が梱包機に押されて
 転倒した

【事故発生原因】

・作業員が独断で天端から直角に下りようとしたため。

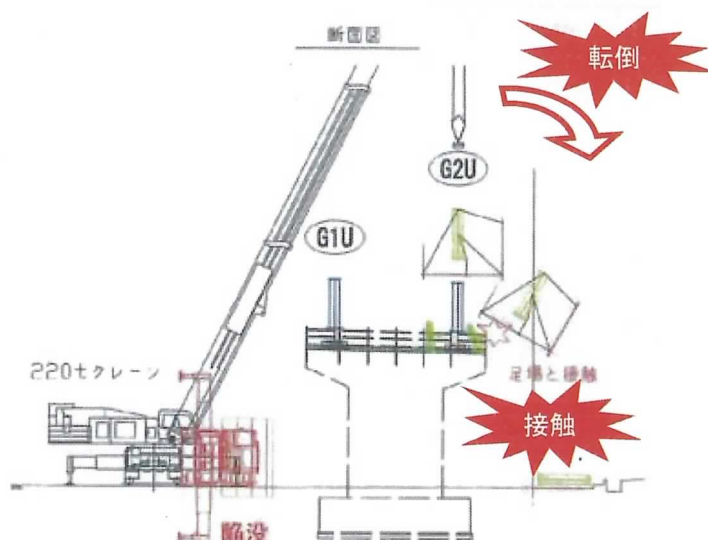
【事故防止のポイント】

・作業員に対して建設機械の使用方法的指導・徹底。

など

発生日時	平成 22 年 7 月 27 日 (火)				10 時 25 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 鋼橋上部工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	男	24	作業員	左大腿骨開放骨折			
事故概要	220tクレーンにて上部工の桁架設を行っていたところ、クレーンが横転し作業員が負傷したもの。						

事故発生状況



・220tクレーンにて桁架設を行っていたところ、**アウトリガーが陥没**し、クレーンが横転した。
 ・これにより吊荷の桁が落下し、桁下面に設置してあった足場が橋脚の上にいた作業員に接触し負傷したものの。



クレーン転倒状況



アウトリガー陥没状況

【事故発生原因】

・調査中

【事故防止のポイント】

・クレーン設置箇所の地盤の状態を確認。
 ・作業前及び作業中におけるアウトリガーの状態を確認。 など

別紙

発生日時	平成 22 年 4 月 6 日 (火)				11 時 30 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	—	—	—	光ケーブル損傷			
事故概要	バックホウを旋回させる際に、埋設されていた光ケーブルを引っ張り、損傷させたもの。						

事故発生状況



損傷状況

旋回するために、バックホウのバケットを堤防天端に差し込み、方向転換を行った。その後、バケットを斜め上方に引き上げた際、FEP管を引っ張ったことにより、光ケーブルを損傷。

【事故発生原因】

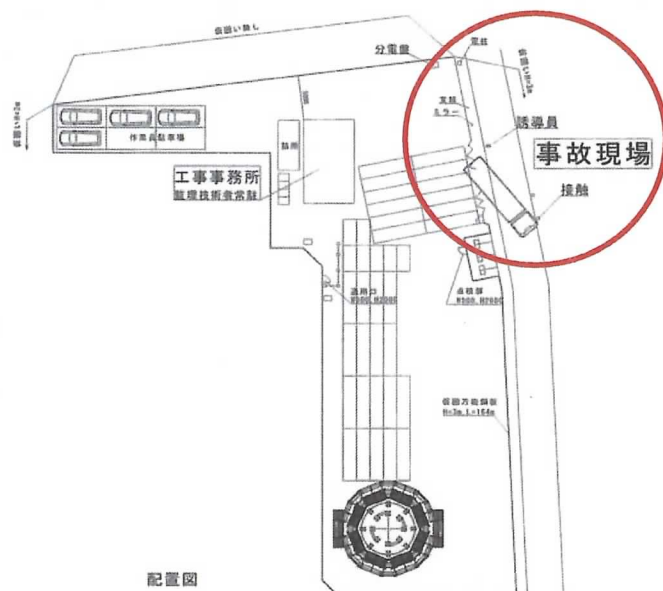
・光ケーブル埋設箇所にバックホウのバケットを差し込んで方向転換しようとしたため。

【事故防止のポイント】

・埋設箇所の表示 など

発生日時	平成 22 年 4 月 9 日 (金) 15 時 40 分				天候	晴
工事情報	宮繕系事務所 建築工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	—	—	—	市所有の石柱損傷		
事故概要	仮設材搬出車両(10t)をバックで入場させる際に、車両の左前部分が歩道の石柱に接触し、倒したもの。					

事故発生状況



損傷状況

バックで現場に入場する際に、車両の左前部分が歩道の車止め石柱に接触し、転倒

【事故発生原因】

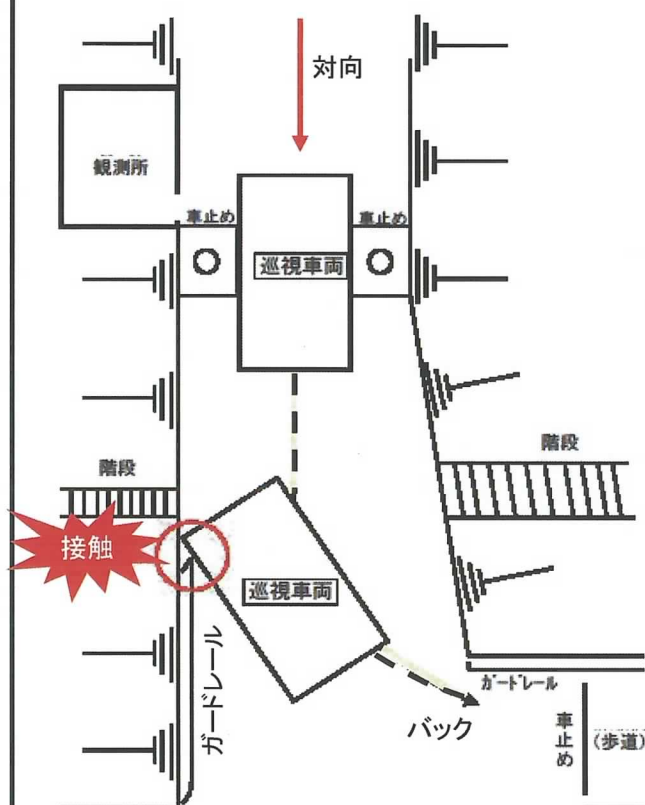
・運転手の周辺確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・工事関係車両が出入りする際の方法について運転手に対して周知徹底する。
など

発生日時	平成 22 年 4 月 13 日 (火) 13 時 45 分				天候	晴
工事情報	河川系事務所 業務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	—	—	—	管理車両バンパー損傷		
事故概要	河川巡視中、堤防を走行中に対向車が来て、道を譲るためにバックしたところ、ガードレールに接触し車両バンパー部を損傷させたもの。					

事故発生状況



車止めの箇所まで進んだところ、対向車が来たため、バックした。その際、車両の左前部分がガードレールに接触し、車両バンパー部を損傷させた。



損傷状況

【事故発生原因】

・運転手の周辺確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。

発生日時	平成 22 年 4 月 20 日 (火)				12 時 55 分	天候	小雨
工事情報	河川系事務所 一般土木工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	-	-	-	バックホウの損傷			
事故概要	バックホウで盛土材を配土していたところ、ほぐした土砂で足場が不安定になり、法肩から転倒させたもの。						

事故発生状況



- ・盛土を延伸する作業で余盛土をほぐしながら土砂を振っていたが、ほぐしすぎてしまい、足場が不安定になっていた。
- ・足場が不安定な状態からバックホウを動かしたところ、転倒した。

【事故発生原因】

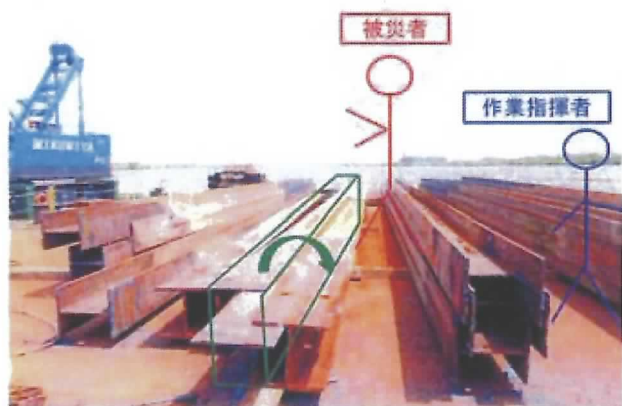
- ・土砂をほぐしすぎてしまい、足場が不安定になってしまったこと。
- ・誘導員をつけずにオペレータが作業してしまったこと。

【事故防止のポイント】

- ・作業の進捗状況の確認を徹底。
- ・重機の運転は誘導員の合図に従う。など

発生日時	平成 22 年 5 月 10 日 (月) 11 時 0 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事		
被災の状況	性別	年齢	職種
	男	19	作業員
	被災の程度		
	左足膝上開放骨折		
事故概要	支持杭をとりまとめるため、クレーンにより吊り上げ吊り下ろし作業を行っていたところ、玉掛けワイヤーの先端フックが吊り荷に引っかかり、作業員の方向に倒れてきて負傷したもの。		

事故発生状況



・橋脚足場架台の支持杭を引き抜いて三段にまとめる作業を行っていた。

・被災者と吊荷の反対側にあった吊ワイヤーの先端フックが吊荷の下フランジに引っかかりそのまま巻き上げられた為、吊荷が被災者の方向に倒れてきて、左足膝の上部を挟まれた。

・玉掛け作業は二人一組で行っていたが、作業指揮者(合図者)の合図を待たずに、オペレータに合図を出し、オペレータもクレーンを動かしてしまった。



【事故発生原因】

・作業員が手順どおりに玉掛け作業をしていなかったため。

【事故防止のポイント】

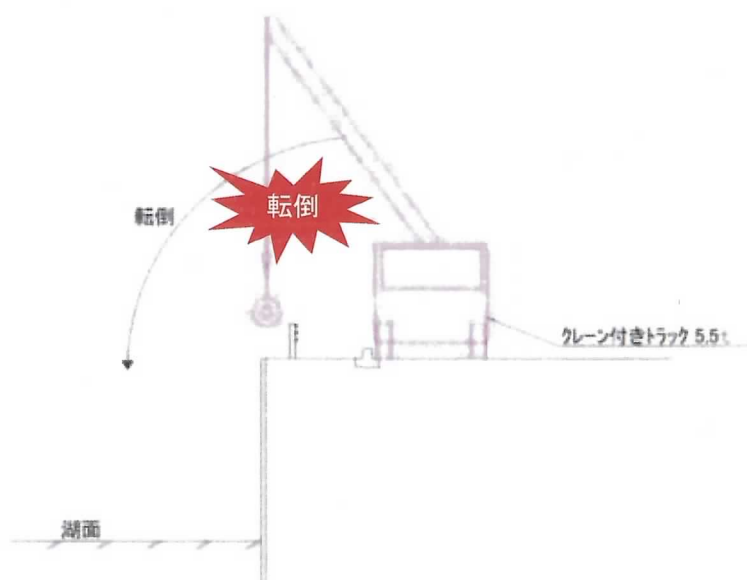
・作業手順について作業員に周知・徹底する。
・単独作業の禁止。

など

別紙

発生日時	平成 22 年 5 月 17 日 (月) 11 時 40 分				天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	転落防止柵損傷		
事故概要						

事故発生状況



・湖面にある流木を小型移動式クレーンにて吊上げ集積する作業を行っていた。

・流木を吊上げた状態で、後方へ旋回する際に、**急激なアクセル操作**をしたため、吊り荷が大きく揺れ、**クレーンがバランスを崩して転倒・落水した。**



クレーンの引き上げ作業状況



引き上げられたクレーン

【事故発生原因】

・クレーンの誤操作によるもの。

【事故防止のポイント】

・作業員に対して建設機械の使用方法的指導・徹底。
・吊り荷の重量に見合うクレーンの選定。

など

発生日時	平成 22 年 5 月 18 日 (火) 10 時 0 分					天候	晴
工事情報	営繕系事務所 建築工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	-	-	-	埋設サーバ用電源ケーブル切断			
事故概要	山留親杭(H鋼200×200)を打設するために、オーガードリルにて掘削中に埋設サーバ用電源ケーブルを切断したもの。						

事故発生状況



損傷状況

【事故発生原因】

- ・工事関係者間での情報共有不足によるもの。

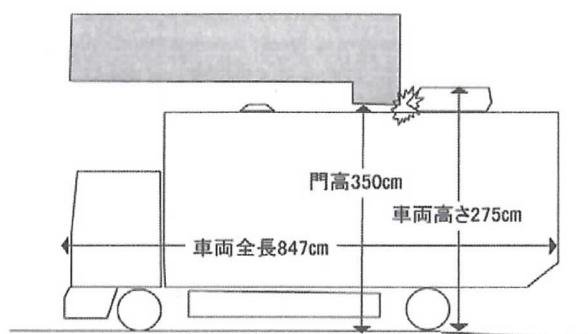
【事故防止のポイント】

- ・工事開始前の工事関係者間での情報共有。
- ・地下埋設物がある箇所については、埋設表示を行うなど、作業員への注意喚起を徹底。 など

- ・事前に試掘をして、ケーブルを確認していたのにも関わらず、**事故箇所の調査図には配管がないと誤記していた。**
- ・また、**埋設管表示をしていなかった**ため、施工時に注意することなく、誤記にも気がつかなかった。

発生日時	平成 22 年 6 月 11 日 (金) 18 時 00 分				天候	晴
工事情報	河川系事務所 役務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	災害自然体験車損傷		
事故概要	災害自然体験車が事務所車庫に入庫しようとした際に、車庫入り口上部に接触し、車両屋根部に設置してあったヒートポンプカバーを損傷させたもの。					

事故発生状況



車庫入口



損傷状況

【事故発生原因】

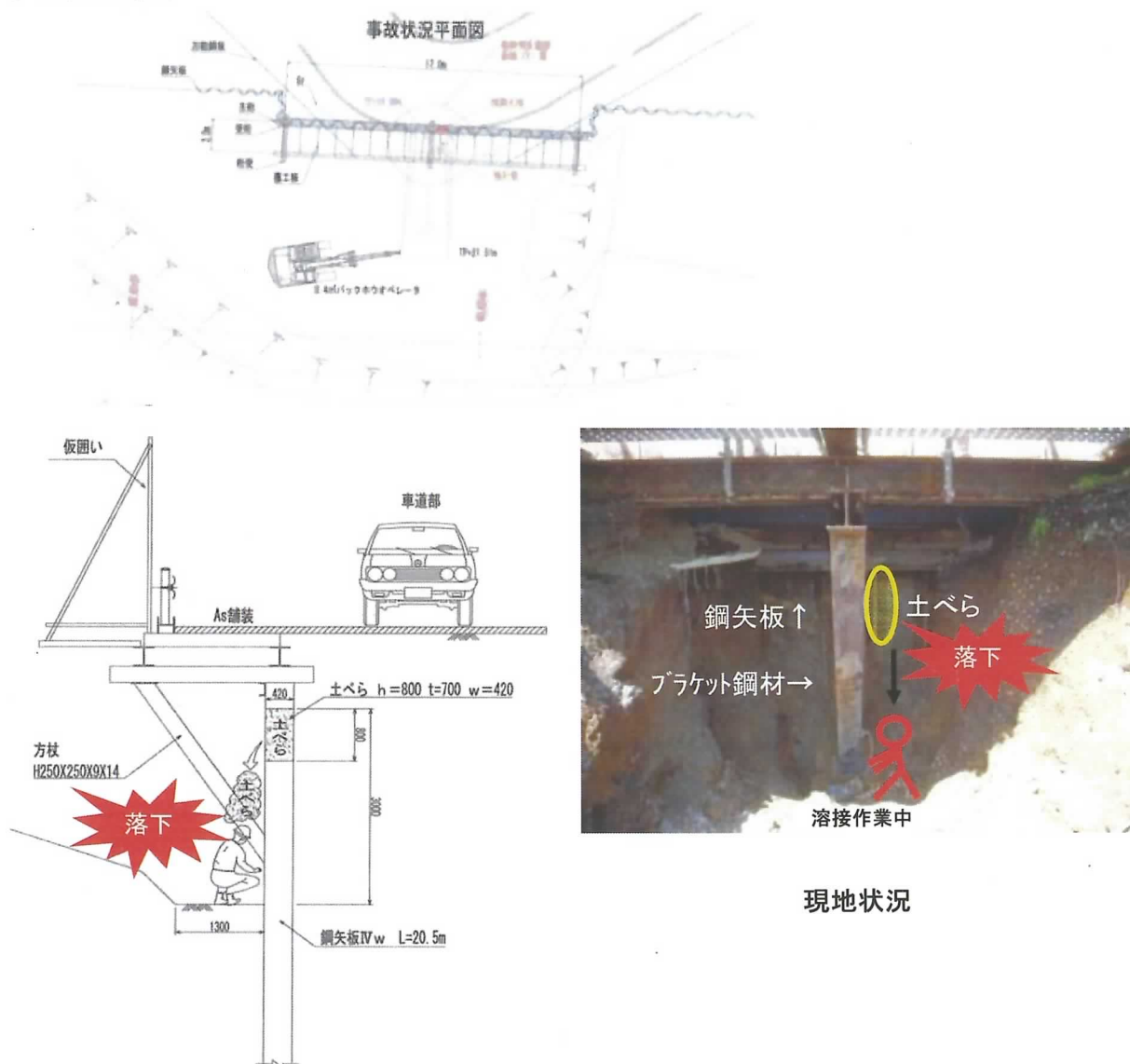
・運転手・誘導者の周辺確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。

発生日時	平成 22 年 6 月 16 日 (水)				13 時 45 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	男	58	作業員	胸椎骨折			
事故概要	ブラケット鋼材と鋼矢板の本溶接作業中に、鋼矢板の土ベラ(0.1m3程度)が作業員の頭上方向にて崩れ落ち、負傷したもの。						

事故発生状況



【事故発生原因】

- ・土べらを十分に落としていなかったため。

【事故防止のポイント】

- ・作業手順について作業員に周知・徹底する など

発生日時	平成 22 年 6 月 23 日 (水) 11 時 45 分				天候	雨
工事情報	河川系事務所 役務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	官用車損傷		
事故概要	駐車場からバックで出庫する際に支柱に衝突し、車両を損傷させたもの。					

事故発生状況



接触した石柱



損傷状況

【事故発生原因】

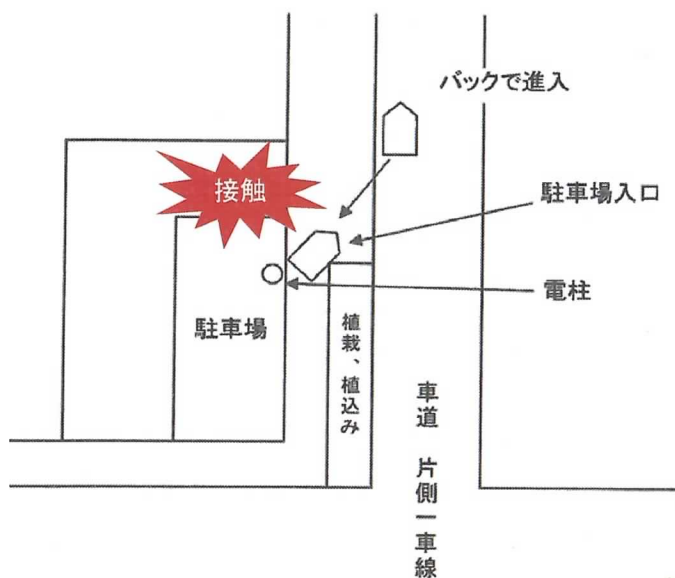
- ・運転手の後方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

- ・車両安全運転教育の徹底。

発生日時	平成 22 年 6 月 28 日 (月) 15 時 30 分				天候	曇
工事情報	河川系事務所 役務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	官用車損傷		
事故概要	車両管理業務にて目的地に到着し、駐車場にバックで進入していたところ、電柱に接触し、車両を損傷させたもの。					

事故発生状況



損傷状況

【事故発生原因】

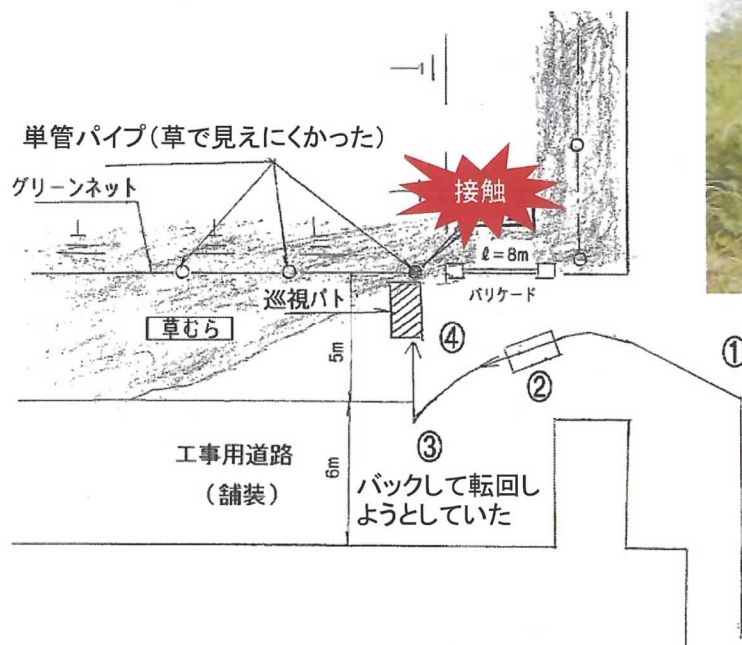
・運転手の後方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。

発生日時	平成 22 年 7 月 22 日 (木) 10 時 50 分				天候	晴
工事情報	河川系事務所 業務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	パトロールカー損傷		
事故概要	河川巡視中にパトロールカーを転回していたところ、単管パイプに接触し、パトロールカーを損傷させたもの。					

事故発生状況



接触した単管パイプ



損傷状況

【事故発生原因】

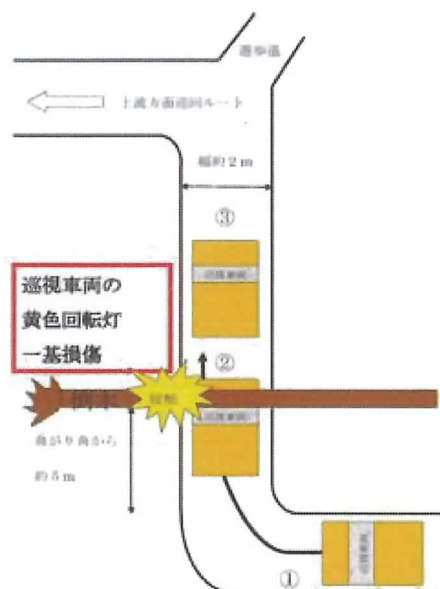
- ・運転手の後方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

- ・車両安全運転教育の徹底。

発生日時	平成 22 年 7 月 26 日 (月) 14 時 0 分					天候	晴
工事情報	河川系事務所 業務						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	-	-	-	パトロールカー損傷			
事故概要	河川巡視中にパトロールカーにて倒木した木の下を通ろうとしたところ、車のスポットライトに接触し損傷させたもの。						

事故発生状況



- ・前回の巡回時に倒木を発見したが、木をよけて通行していた。
(後日撤去することが決まっていた)
- ・今回の巡回においても木をよけて通行できると思い、通行しようとしたところ、接触したもの。



損傷状況

【事故発生原因】

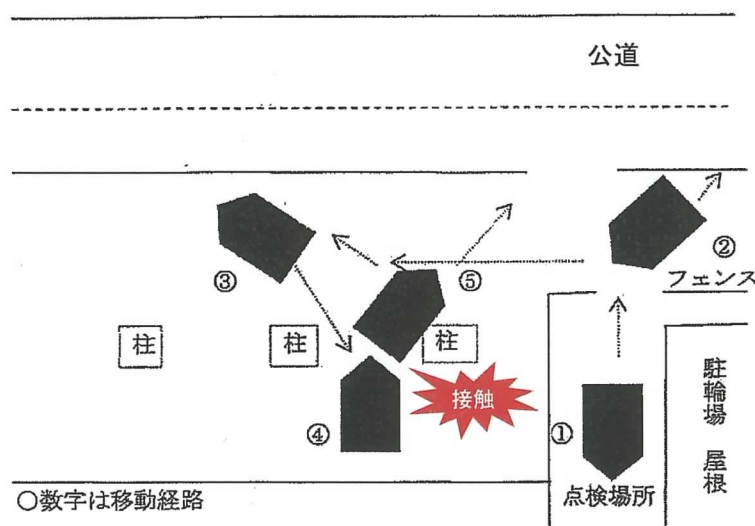
- ・運転手の思い込みによる運転操作によるもの。
- ・注意箇所を走行する際の安全確認不足によるもの。 など

【事故防止のポイント】

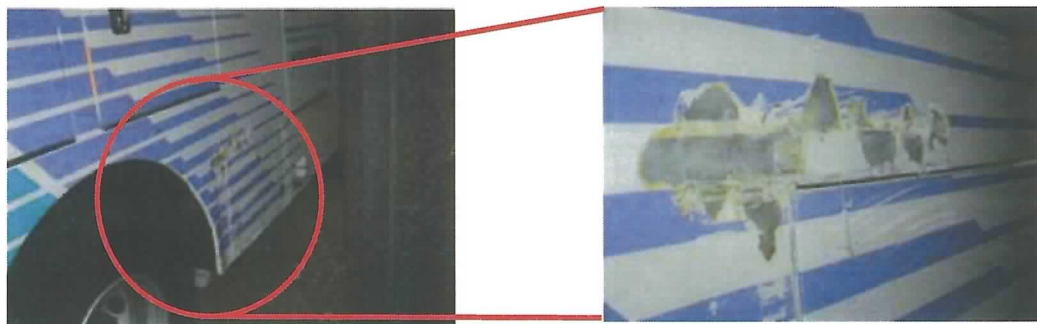
- ・車両安全運転教育の徹底。
- ・通行の可否について、降車して周辺の状況を確認する。 など

発生日時	平成 22 年 7 月 26 日 (月) 17 時 35 分				天候	曇
工事情報	道路系事務所 役務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	衛星通信車損傷		
事故概要	衛星通信車を点検先から回送する際に、向きを変えるため転回を行っていたところ石柱に接触し、車両を損傷させたもの。					

事故発生状況



・車両は①の場所に前方から駐車していた。
 ・公道の交通量が多く、前方から出ようと、車両を転回していたところ、柱にぶつかり車両を損傷させたもの。



損傷状況

【事故発生原因】

・運転手の右側確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。